

第15回 若手技能者の採用や育成に資する活動に対する助成【助成B】

令和6年 若手技能者技術向上講習 報告書

～重機オペレーターの即戦力化と担い手不足解消に向けて～



大東工業 株式会社

活動期間：令和6年4月12日～5月31日

発表日：令和8年2月10日

大東工業株式会社 会社概要

社名 大東工業株式会社

本社 北海道札幌市中央区北4条西27丁目1番5号

電話 011-641-1411

代表者 代表取締役社長 渡部 徹也

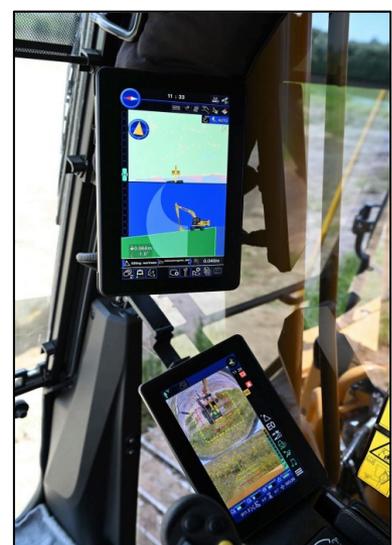
設立 昭和36年4月7日 **資本金** 5,000万円

従業員数 89人

許認可 北海道知事許可
(特-3) 石第00932号

土木一式・とび土工・水道施設
・建築・舗装 工事





大東工業(株)の 現場の様子



講習実施の背景



● はじまりは現場から上がった課題の声 ●

「若手は入ってくるが、忙しい現場で教える時間が取れない」

「新人に機械を少し動かしてもらおうと思ったら危なっかしい」

「実機に乗る機会が少ないと、若手がやる気を失って辞めてしまう」

「即戦力がほしい」

新入社員も毎年少しずつ増え始めたものの、現場での「実地教育の難しさ」が若手の技能向上の障壁となっていました。



講習実施の目的

- ・ **即戦力の育成：**
現場に出る前に集中して基本～応用技術を習得。
- ・ **離職防止：**「機械に乗れないからつまらない」を排除。
- ・ **業界の技術の底上げと技能継承：**
協力会社も含めた技能者全体の技術向上と技能を継承していく。

「誰一人建設業を辞めさせない」という強い信念





本物の技術を繋ぐ：指導者紹介



中村 幸喜 63歳(オペレーター歴42年)

**優秀施工者国土交通大臣顕彰
(建設マスター) 受賞**

CCUS ゴールドカード (レベル4) 所持

業界の第一線で磨き上げられた技能継承者



菊池 将矢33歳 (オペレーター歴13年)

CCUS ゴールドカード (レベル4) 所持

若手の目線に近い立場で丁寧に指導

講習 1日の流れとカリキュラム

1日の流れ

	内容
8:00	朝礼・ラジオ体操
8:15	重機点検
8:30	研修開始
12:00	昼休み
13:00	研修開始
16:30	重機点検
17:00	夕礼・終了

使用機械	型式
バックホウ	CAT320
バックホウ	CAT320 (ICT)
バックホウ	CAT323
バックホウ	コマツPC200LCI (ICT)
ブルドーザー	D37PXI (ICT)
ダンプ	4 t・10 t D T

カリキュラム

	内 容	対象機種ほか
①	機械点検方法 (メンテナンス方法)	バックホウ・ブルドーザー
②	バケツ交換	バックホウ
③	ICT使い方	バックホウ・ブルドーザー
④	法面整形	バックホウ
⑤	整地	バックホウ・ブルドーザー
⑥	掘削	バックホウ
⑦	試験攪拌ヤード作り方レーザーレベルの使い方	レーザーレベル
⑧	マグネットの使い方	バックホウ
⑨	敷砂利	バックホウ・ブルドーザー
⑩	水切り	バックホウ
⑪	土砂集積	バックホウ・ブルドーザー
⑫	敷鉄板	バックホウ
⑬	敷板掃除	バックホウ
⑭	土砂受取	バックホウ
⑮	積込み (土砂・砂利)	バックホウ
⑯	大型土嚢作成	バックホウ
⑰	鉄板溶接・加工・溶接外し	酸素・アセチレン
⑱	機械整備	バックホウ・ブルドーザー



<<<活動内容>>>



一日は朝礼から始まります



機械点検



バケツ交換



機械
点検

10tダンプ°土砂積込



土砂集積・整地



法面整形



法面整形



土砂集積



整地



ICT操作



反省会(コミュニケーションタイム)

助成金の使途

- 重機の燃料費・運搬費
- 休憩所などのリース代
(休憩所・ストーブ・発電機・椅子・机・
簡易トイレ・消耗品など)
- ⑨敷砂利 ⑪土砂集積 ⑭土砂受取 ⑮ダンプ
積込練習に使用する コンクリート碎石 など



に使用させていただきました





講習の成果と受講者の変化

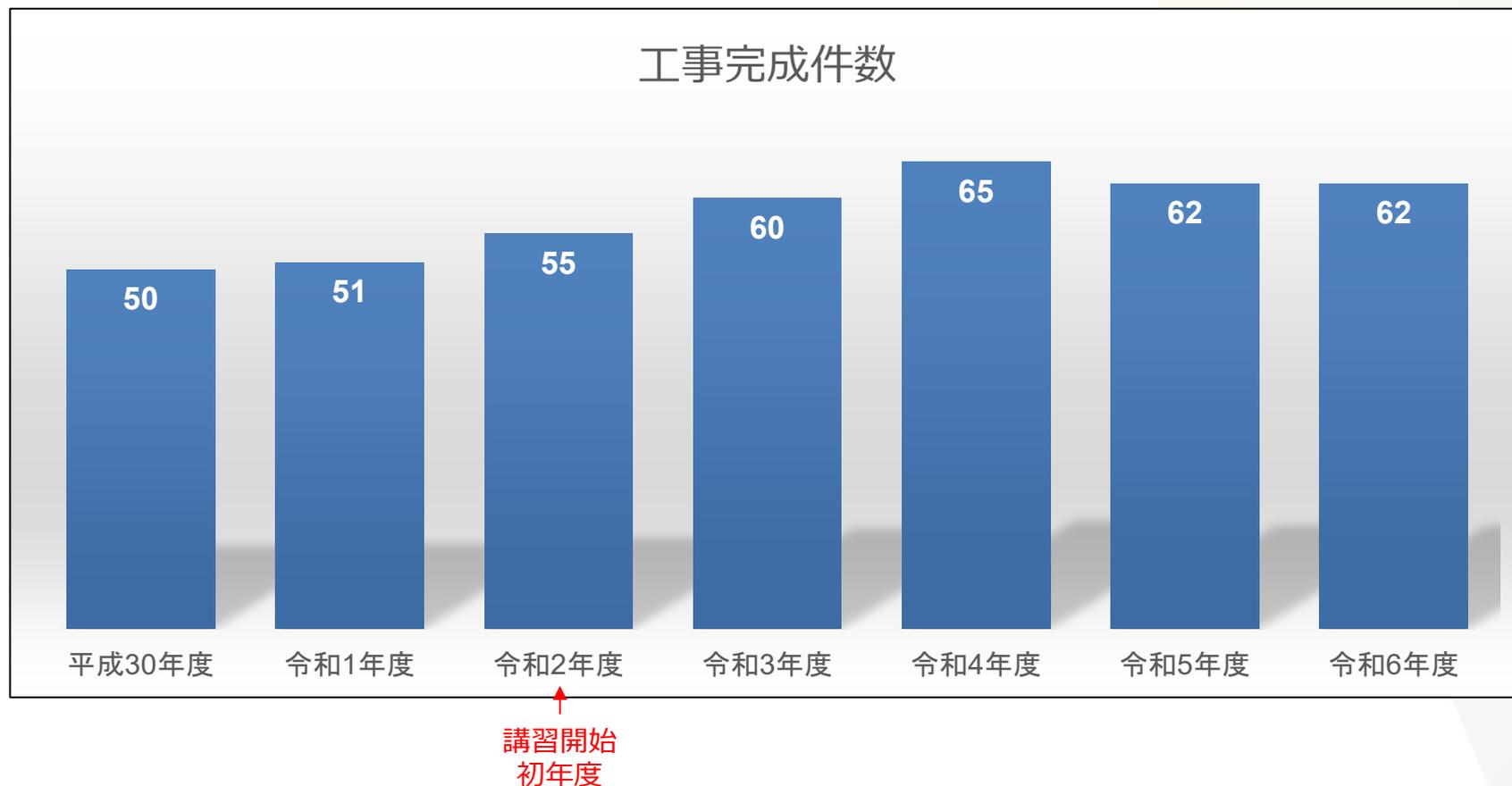
	開催期間	従業員	協力会社	合計
1回目	令和3年4月1日～5月31日	7人	10人	17人
2回目	令和4年4月11日～5月31日	3人	6人	9人
3回目	令和5年4月3日～5月31日	6人	14人	20人
4回目	令和6年4月12日～5月31日	9人	14人	23人

受講者アンケート結果

- ✓ **満足度100%**： 全員が「今後の仕事に役立つ」
「技能が磨けた」と回答。
- ✓ **継続希望100%**： 全員が「来年もまた受講したい」と強い意欲。
- ✓ **仲間意識**： 運転技術だけでなくコミュニケーション能力も
向上したとの意見も。



講習の成果



令和3年4月から始まったこの「若手技能者技術向上講習」は4回目を無事終えることができました。

成果といたしましては、講習を実施したことにより即戦力の人員増加で生産性向上につながったため、売上の上下変動があるものの受注件数が増加しました。これは機械土工工事業としてお客様の要望にお応えできているからだと考え、少なくとも若手技能者も貢献してくれているからだと思います。



講習の成果

講習を実施する前までは、新規入職者が機械を練習できるのは現場で作業員をやりながら機械の空いている少ない時間で練習をしていました。その為、オペレーターとして即戦力になるには1～2年の練習が必要でしたが、2カ月間の講習後は現場で活躍することができ生産性向上にもつながりました。

また、協力会社さんでは実際の現場でなかなか機械に乗って練習する機会がなく、乗れないのであれば退職しますという若手のオペレーターが続出しましたが、2カ月間の講習会後は即戦力となり現場で必要とされるオペレーターとして活躍することができ、本人のやりがいにもつながり離職するオペレーターが減少しました。

大きな成果となって現れるのはまだ先になると思いますが、着実にこの活動を続けていきたいと思えます。

戸田みらい基金の皆様ご支援いただき誠にありがとうございました